

with コロナでのがん対策について

1 趣 旨

新型コロナウイルス感染症患者の発生に伴い、国の緊急事態宣言も発せられるなどにより、外出自粛の要請や、市のがん検診の中止、また、医療機関では外来機能の縮小や手術の延期など、これまでに経験したことのない、様々な状況が発生した。

このような状況下において、がん患者の方々が日常生活を送るうえで、①どのような課題に直面したのか、②各関係団体での取り組み状況、③課題への対応策などについてご発言いただき、支援のあり方について共有し、今後の施策に生かしていく。

2 論点の例

分 野	論 点
検診	<ul style="list-style-type: none"> ○集団（地域巡回）での検診は、3/3～6/末まで中止。 ⇒開催頻度を増やし、昨年度とほぼ同数の実施回数を見込む。 ○指定医療機関での検診は、4/10～5/26 まで中止。 ⇒実施回数としては減となる。 ○現在は、感染防止対策を講じながら実施。 ○40歳総合健診無料受診券（胃がん（X線）、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの各検診）及び20歳子宮頸がん検診無料受診券について、受診期限を6か月間延長。 ○偶数歳の方が受診対象となっている、胃がん（内視鏡）、乳がん、子宮頸がんの各検診について、受診期限を6か月間延長。 ○with コロナ下で、がん検診の受診率の向上を通じた、がんの早期発見・治療・療養にどのように取り組んでいくべきか。 （受診抑制防止、検診中止期間における対応 等）
医療	<ul style="list-style-type: none"> ○院内感染の広がりによる手術や外来診療の停止のほか、がん患者の手術や治療が延期される状況となった。 ○医療現場において、がん患者の治療への影響はどのようなものであったのか（受診抑制、服薬、化学療法、放射線治療 等）。 ○with コロナ下で、がん患者に必要な医療体制の確保に、どのように取り組んでいくべきか。
相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○相談受付件数は減少。 ○電話相談のほか、感染拡大防止策を講じたうえで対面相談も実施。 ○with コロナ下で、がん患者が安心して相談できる場を確保するとともに、必要な支援を受けることができる体制確保に、どのように取り組んでいくべきか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○がん予防のあり方 ○情報提供のあり方